

第二三六回ペン川柳会

令和六年一月二十九日

お題 「上・上がる」

■ 稲宮（井波）  
いなみ

退職後上にまします山の神  
上の上イタチの尻ひって逃げ切った

■ 三春（火酒）  
ウオツカ

還流は上意でござる検事どの  
上役も不遇をかこつ配置換え

■ 浜田（我々好）  
ウイスキー

上がるもの物価に株価能登の船  
血圧が上がるにつれて酒量減り

■ 塚田（拿々）  
だだ

酒飲んで吐いた一言炎上し  
美熟女の上目遣いについふらり

■ 八木（明迷）  
めいめい

上見るな下見て歩け高齢者  
飲み屋とは立ち飲み以上割烹未満

■ 松谷（零門）  
れいもん

「酒の上」むかし放免いまは罪  
上がれない深く掘りすぎ落とし穴

■ 山縣（安兵衛）  
やすべえ

上様はバツタバツタと成敗し  
解散し支持率上がれば御の字か

■ 大野（だし）

年始め上下の揺れであの世行き  
日航機一日違いの幸運児

■ 安藤（晃二）

てるつぐ

血圧が上がり何故だる医者にんまり  
母ピシヤリ庭から上がる裸足の子

世話人 塚田 實（だだ 拿々）